

授業概要

博物館における資料保存およびその保存環境、収蔵環境を科学的に捉え、資料を良好な状態で適切に保存していくために習得すべき基礎知識について講義する。博物館における資料保存の意義・理念を理解したうえで、資料を守るために整備すべき環境、対策について学ぶ。さらに資料保存のための技術として、文化財修復の歴史と方法について講義する。

授業計画

第1回	オリエンテーション
第2回	文化財保存の歴史と制度
第3回	正倉院宝物に学ぶ資料保存
第4回	博物館資料の科学調査
第5回	博物館資料の保存環境 (1) 温度、湿度、光
第6回	博物館資料の保存環境 (2) 空気汚染
第7回	博物館資料の保存環境 (3) 輸送・梱包
第8回	博物館資料の保存環境 (4) 生物被害とIPM (総合的有害生物管理) の理念
第9回	博物館資料の保存環境 (5) 生物被害とIPM (総合的有害生物管理) の事例
第10回	博物館における災害対策
第11回	災害と文化財レスキュー
第12回	保存修復の歴史と技術 (1) 修理の基礎
第13回	保存修復の歴史と技術 (2) 修理の実例 1
第14回	保存修復の歴史と技術 (3) 修理の基礎 2、模写・模造と資料保存
第15回	まとめ
第16回	筆記試験

到達目標

博物館における資料保存の具体的な方法、対策について学習することで、学芸員として必要な資料保存に関する基礎知識を身につける。次世代へ向けて守り伝える文化財保存の重要性について理解する。

履修上の注意

- なるべく多くの博物館・美術館を見学し、資料保存への取り組みについても理解すること。
- 博物館・美術館以外でも、文化財や修復についてのニュース、記事に関心を持つこと。

予習・復習

- 配布資料を読み返し、前回までの内容を理解しておくこと。
- 授業内で紹介した参考文献などについて、積極的に調べること。

評価方法

期末試験 (70%)、授業内課題 (30%) によって評価する。

テキスト

- 教科書は使用しない。参考文献を授業内で紹介する。
- 資料を毎回配布する。